

2017年度以前入学生対象 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

スポーツ健康学科では、「教育目的」を達成するために、「健康運動コース」「地域スポーツコース」という2コースを設けるとともに、以下の7つに特徴づけられる教育課程を編成している。

1. 建学の精神に基づく人格教育

互いの「いのち」を尊び、感謝の心で接し合う社会の創造に資する学生の人格形成を支援するために、「宗教学」を初年次の必修とし、入学直後から建学の精神について学ぶ。

2. 多角的な視点を身につける教養教育

幅広い学びを保障し、多角的な視点を身につけられる教養教育を実践するため、語学を必修として設定するとともに、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3領域から履修科目を選択する。

3. 自己実現を支援するキャリア教育

大学での学び方や自己の特性を知り、社会人に必要な知識やスキルを身につけるために、自身にあった職業選択につながるキャリア教育を実施する。

4. 学生のニーズにたいねいに対応する少人数指導

ゼミナール等を中心として、少人数編成の科目を初年次から最終学年まで縦断的に設置することをつうじて、教員や学生同士で「ともに学ぶ」ことを重視した教育を実施する。

5. 学ぶための基盤を確実にする初年次教育

大学レベルでの学習に必要なスキルと態度を身につけるために、学部共通の初年次教育プログラムを設ける。

6. 多角的な視点を養う学際的カリキュラム

スポーツを通して、人が生涯にわたり健康で豊かな生活を送るための支援に必要な、幅広い知識と様々なスポーツの実践的指導力を身につけられるよう、栄養学や医学等、スポーツ健康学の隣接分野を含む学際的・総合的な教育プログラムを展開する。

7. 専門性を深める体系的カリキュラム

各コースの専門性を、学年進行と共に積み上げ、4年次の卒業研究につなげるため、学科共通の基幹科目群とそれに続く発展科目群を設ける。